

祐善寺だより

第41号

発行日

2018年10月9日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



「子ども報恩講&納涼祭2018」開催!

猛暑を吹き飛ばし!

昨年より二十四日も早く梅雨明け。と同時に、生命に関わる酷暑続き。そのような中で、熱中症には十分に配慮して今年の「子ども報恩講&納涼祭2018」が開催されました。

◆「子ども報恩講&納涼祭2018」大盛況!(御礼)

実行委員長 上野三千男

猛暑続きの今年、七月二十一日に子ども中心の祐善寺子ども報恩講&納涼祭を、子ども三十八名、大人五十四名の参加を頂き、盛大に開催しました。恒例の流しそつめん、焼き鳥、フランクフルトなどに加え、ヨーヨー釣り

暑さゆえ、流しそつめんが一番人気



&スマートボールすくいなど長い列が出来る程、大盛況でありました。お手伝いの皆様、汗「だくだく」。お陰様で楽しい一時を過ごしました。来年も皆さん期待して下さいね。最後に、住職、若院、実行委員他、関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

スタッフから

渡邊 和恵

私は、前日に買物し、当日はスタッフと一緒に準備し子どもたちを迎えます。

流しそつめんでは、一番良く取れるヨと、一番下で構える子。餅つきでは、自分より重い杵を持ち、私にもつかせてとせがむ子。焼き鳥では、一回もらったけど、頂だいと、おねだりする子。私の孫も五名参加したが、見知らぬ子どもたちと仲良く無邪気に飛び回って遊ぶのを見ると、納涼祭をやって良かった、と思います。

マンネリ化しないように、少しずつ変化させて継続し、子どもたちの良き思い出のページとなり、将来、お寺

を懐かしく思ってくれば、と思つ行事です。



ゲームコーナーの周りに集まる子どもたち



子ども報恩講お勤めの導師は小学四年の渡邊 心

◆子ども報恩講の導師をつとめて

渡邊 心

子ども報恩講の導師を勤め、大きな声で言つのに、緊張しました。もし、来年もお勤めをするのであれば、練習して自信を持って、大きな声でお勤めをあげたいです。



大銀杏の樹の下で休憩する参加者の皆さん



炎天下での草刈 作業奉仕に汗!



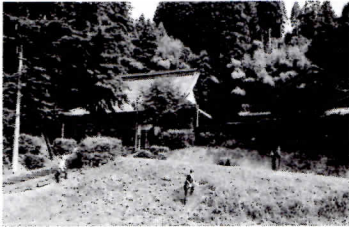
上野 養 治

七月十六日(海の日)、祐善寺周辺の草刈作業を行いました。今年、主に森、杖立、真木地区の方と有志を合わせて二十一名の参加をいただきました。

今年は、例年になく連日の猛暑続きで、当日も気温三十六度と非常に暑い日でした。住職の心遣いで、一時間ほど作業をしては休憩をとり、水分補給をしました。スポーツドリンクやお茶もいですが、冷えたスイカは、特に美味しく体が休まる気がしたものです。

新しく駐車場もできたことから、その周りの草刈りを加え、本堂裏、庫裡の裏、庭、樹木の剪定、参道の掃き掃除など、いつもの作業を怪我無く終えました。

毎年、暑い時期の草刈り奉仕ですけれども、次の世代に継ぐためにお寺を大切に護っていきたいものです。



吉崎別院ご修復事業へのご寄付

・お願い・

あわら市吉崎地区にある真宗大谷派吉崎別院は、本願寺第八代蓮如上人が北陸布教の拠点として建立された吉崎坊舎を原形としており、現在の別院本堂は、一七四七(延享四年)年に建立されたものであります。

がけ地を切り崩した場所に立つ本堂は、長年の間、雨水による土砂の浸食、流出で本堂周辺の地盤も脆くなっており、建物も老朽化してきたことから、この度、二百七十年ぶりに地盤補強、減震対策も施した大規模改修工事が施工されることになりました。

浄土真宗の教えに育てられている私どもは、このたびの吉崎別院大規模修復に際し、改めて本願寺中興の祖とあがめられている蓮如上人のご遺徳を偲ぶ機縁にしたいと思っております。つきましては、諸般のご事情があることですが、左記のとおりご懇念を賜りたく、宜しくお願い致します。

記

○ご懇志金額 一戸 一〇〇〇円

○ご志納方法

① 報恩講、お年頭等の際に寺へ直接、納める

② 秋参り等で賣家を訪問させて頂いた時に住職に預ける

○志納期限 二〇一九年一月末

○篤志寄付

一〇、一万円以上のご寄付には、別途、個別に記念品及び芳名披露のお取り扱いがいたします。

平成30年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に亙って護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のとおりご志納下さいますようお願いいたします。

◇護持費の使途

・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施

・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用

・ 本山相統講、福井教区賦課金等

・ その他

◇年額

一戸 一〇、〇〇〇円(以上)

◇志納方法

・ 寺へ直接志納する

・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する

・ 地区の役員さんに志納する

・ 郵便振替口座

(〇〇七七〇九一三〇七二一)

・ 加入者＝祐善寺

へ振り込む

◇志納期限

毎年十一月末日

平成三十年度の 年忌法要を お勤め下さい!

本年度の年忌は左記のとおりでございますので、貴家の過去帳等を御確認していただき、皆様にとられてかけがえのない御先祖様の年忌法要を是非、勤めて下さいますようお願いいたします。

- 五十回忌 昭和四十四年没
- 三十三回忌 昭和六十一年没
- 二十五回忌 平成六年没
- 十七回忌 平成十四年没
- 十三回忌 平成十八年没
- 七回忌 平成二十四年没
- 三回忌 平成二十八年没
- 一周忌 平成二十九年没

投稿ページ

コスモスも咲いて今年の秋整う
野村軍一



みんなの力で刈り終わって稲株だけが行儀良く並んでいる田を見ると、毎日続いたあの厳しかった暑さが嘘のように思われます。涼しくなってきましたね。
田んぼの土手では、真っ赤な彼岸花が両手を上げて阿波踊りを始めました。屋敷の陰では、秋海棠が咲き競い、畑の隅では「コスモスも咲き揃って、さあ、これで今年の秋の準備は整いましたよ。

俳句

野村 明良

おあさじの時間短縮嘆佛偈
(朝、仏壇の前で時間を
縮めてお参りをする)

日々を弥陀の光に照らされて
(毎日、お念仏を唱えながら、
働かせてもらう)

霞み雲 天空に聳える 祐善寺
(寒い朝、清水区の方から
見て、雲の上に祐善寺が
見えたことがあった)

詩

クレマチス

桑原文子

お寺さんの境内にクレマチスの花
仲間が増え二種類になった
あつち こつちにつぼみ
あつち こつちに咲く花
あなたは なんてかわいいの
あなたは なんて優雅なの
あなたは なんて高貴なの

お彼岸にお寺を訪れた
赤紫色の上品なクレマチスの花
いっぱい花を咲かせていた
一年に二度も咲いてくれるんだ
愛情いっぱい育てているのだから
あなたは 幸せだね

どうぞ、
よろしくお願ひします

祐善寺若院 岡崎 優大

先日、当寺秋季彼岸会にて初めて
ご門徒様の前でお話しをさせて頂き
ました。

勉強不足で十分な話をする事が出来
なかつたですが、今後、勉強積ん
でいこうと思っております。お参り
下さりました皆様、ありがとうございます
でした。皆さんの前でお話しをさ
せて頂く事が出来、とてもいい経験
となつたと感謝しております。

また、本年八月より社会福祉協
会のデイサービスセンターの方で働
かせて頂くようになり、日曜に休日
が確保出来るようになりました。そ
の為、今後、ご門徒様宅の報恩講参
り(秋参り)等に私一人で寄せて頂
く事もあると思ひますが、その際
は、よろしくお願ひ致します。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ
致します。



高齢者施設で、お勤めの導師をさせて頂きました

投稿・お便り募集

「祐善寺だより」が多くの方々に
よって支えられ、支持され、読み
継がれていくことを願ひ、「投稿
ページ」を設けました。皆様から
の「おたより(花だより)」「写真
と思ひ出」「俳句」「詩」「旅行記」「感
想文」「つぶやき」「政治へひごとく」
「お寺へひごとく」等々、投稿をお
待ちしております。

肩肘張らずに、気軽に投稿して
下さいませよ、お願ひします。

眞宗大谷派福井教区
第四組報恩講



とき 十月三十日(火)

午後一時半～

会場 祐善寺本堂
講師 畠山浄師

(能登教区常福寺住職)

右の通り、福井教区第四組報恩講を、祐善寺を会場にして開催されますので、どうか皆様、お誘いあわせの上、ご参詣下さいますようお願いいたします。

※福井教区第四組とはー

福井市、鯖江市、越前町のそれぞれ一部のお東の寺院十七ヶ寺で構成されています。

第四組報恩講は、毎年十月三十日に会場を持ち回りで勤めしています。



本山報恩講福井教区団体参拝
参加者募集

本山(東本願寺)では、毎年十一月二十一日から親鸞聖人の御命日である二十八日まで御正忌報恩講が厳修されます。

今年も、福井教区より団体参拝することになりました。

左記のとおり団体参拝参加者を募集しますので、参加ご希望の方は、祐善寺までお申し込み下さい。

日時 十一月二十七日(火) 日帰り

交通手段 大型バス

参加費 四千元

募集人数 四十名(各組)

備考

参加定員がありますので、お早めにお申込み下さい。

バス乗車地、時間等、詳細については、参加申込者に後日、ご連絡させていただきます。

参加者からの声

私は、昨年も本山の報恩講に団体参拝をしました。全国から集まった門徒と一緒に本山での報恩講参拝は、とても気持ちが良いです。

皆様も、一緒に団体参拝しませんか！
(渡邊千代)

「年越し元旦参り」
ご案内



皆様、今年は、本当に自然災害の多い年でしたね。

大晦日にお寺で除夜の鐘をつきつ一年を振り返り、年明けとともに、すがすがしい気持ちでご本尊に、ご挨拶しましょう！

★仏事で使用した不用品等を、ご持参下さい！

★午後十一時過ぎから点火される「かがり火」で焼却しましょう！

持ち込まれるもの

不要になった位牌、古ろうそく、内敷、お経本、お祓いを受けたお札、土産のこけし人形、一年のカレンダー等々。

左記の日程で、年越し元旦参りをお勤めします。ご家族お誘いあわせの上、ご参加下さい。

日程

十二月三十一日

午後十一時 集合・かがり火準備

午後十一時十分 かがり火点火

午後十二時三十分 除夜の鐘撞き始め

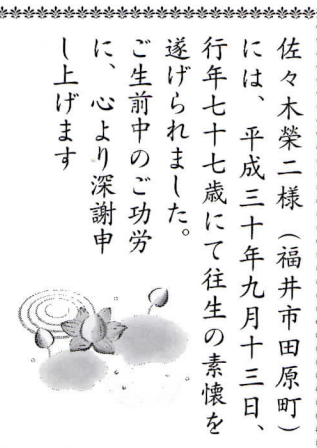
新年元旦

午前〇時 正信偈お勤め

午前〇時二十分

午前〇時三十分 解散
お勤め終了「一年の計」表明

おくやみ

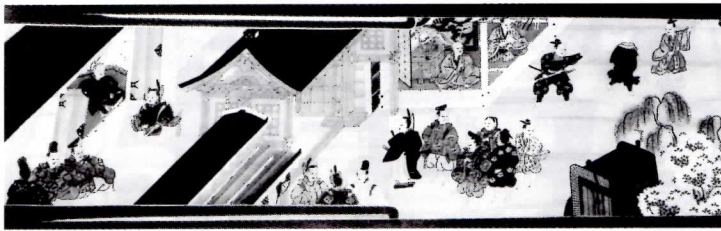


「子ども報恩講&納涼祭2018」
を、東本願寺ホームページ
で検索して下さい!!

今年の「子ども報恩講&納涼祭2018」は、猛暑の中での開催でしたが、九十二名ものご参加を頂き、猛暑を吹き飛ばし、今年も楽しい子ども報恩講&納涼祭になりました。

★検索方法★

お家のパソコン、もしくはお持ちになっているスマートフォン、携帯電話等のインターネット検索画面から、「東本願寺」で検索。トップページ左側のコンテンツ、「しんらん交流館」をクリック、「がんばるお寺」から、「同朋の会・子ども会」で探して下さい。



鳥羽上皇の寵愛
 仏の集会で、後
 弟・住蓮房、安
 楽房によるお念
 仏の集会で、後

(参考文献『親鸞聖人伝繪』『親鸞聖人御絵伝』)

骨をくだきても謝すべし

(「サンガ」より)



法然上人の吉水教団でお念仏の教
 えが盛んになるにつれて、比叡山延
 暦寺や奈良興福寺の僧兵たちは、法
 然上人の説く教えには、捨ておけぬ
 罪科があるとして法然上人や門弟達
 を処罰しよう訴えた。

元久元年には、「延暦寺奏状」に
 よつて専修念仏の停止を訴えられ
 た。法然上人は、自戒の決意を「七

箇条制誡」にま

とめ、門下を誠
 め署名を添えて
 延暦寺に送つ
 たので騒動は
 収まるかにみえ
 たが、元久二年
 には、九か条の
 失点を列挙した

「興福寺奏状」

によつて騒動は
 再燃し、更に、
 法然上人の門

弟・住蓮房、安

楽房によるお念

仏の集会で、後

鳥羽上皇の寵愛

の女官二人（松虫、鈴虫と言われ
 ている）を出家させたことが、上皇の
 逆鱗に触れて、承元元年、ついに念
 仏停止の院宣が下されたのである。
 また、住蓮房、安楽房、他二名が死
 刑に処せられたのである。

時に、親鸞聖人三十五歳、法然上
 人は七十五歳であった。

この権力による暴挙に対して、親
 鸞聖人は、『教行信証』後序で、「主
 上臣下、法に背き義に違し、忿を成
 し怨を結ぶ」と、怒りを込めて、朝
 廷を告発されたのである。

この絵図は、念仏停止の院宣が下
 り、洛中での取り締まりの情景で、
 五条内裏の門前である。

「親鸞聖人御絵伝」

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人の生涯を伝
 く讀えんがために、親鸞の曾孫に当たる本
 願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の
 歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人
 の直弟子西仏房の孫、淨賀法眼に描かせてい
 ます。

詞の部分を「御伝鈔」、絵の部分を「御
 絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御
 絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が
 拝読されます。

其の37



ほうおんこう
 報恩講

は聖人の言葉です。私を救うてくださ
 る仏さま（如来大悲）、この私を仏さま
 の教えに導いてくださる高僧方（師主
 知識）への恩は、身を粉にしても、骨
 を砕いても報謝すべしといわれていま
 す。それほどまでの恩をいただいたと
 いうことでしょうか。

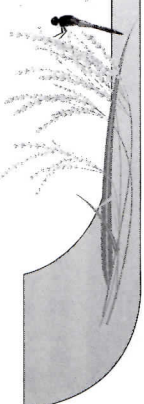
報恩は、浄土真宗を顕らかにされた
 聖人の生き様そのものです。それに私
 達もならい、聖人の後について聞法し
 てまいりましょうという願いが、報恩
 講という仏事には託されているのです。

報恩講は本山や寺だけでなく、ご家庭でも勤めら
 れる仏事です。家庭での報恩講は「お
 取り越し」ともいわれます。年に一度
 です。住職を招き、お内仏の前で家族
 みんなでお参りしたいものです。



(「サンガ」より)

お知らせ



報恩講御案内

十一月二日(金)

日中 午前十時

御齋 午前十一時半

逮夜 午後一時半

法話 出雲路善公師

(福井市南居・陽願寺住職)

親鸞聖人のご遺徳を偲び、右記の通り報恩講を厳修いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご家族、ご知友、ご法友お誘いあわせの上、何卒ご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。

合掌

ボランティア募集!!

雪囲い作業奉仕

とき 11月11日(日)

8時集合(午前中)

持物 鎌(カッター)、軍手、合羽(悪天時)等

JAIイベント保険

加入します。

作業内容

本堂、庫裡等の雪囲い作業をお願いします。高所での作業が苦手な方は、下で雪囲いシートのヒモ結びや資材運び等の作業もありますので、ご都合のつく方は、是非ご協力をお願いします。

お願い

甚だお手数ながら、ご協力いただけます方は、保険に加入し、11月8日(休)までに、地区役員、もしくは祐善寺へご連絡下さいますよう、お願いいたします。

■今冬の豪雪では、雪囲いをして頂いたお陰で、壁やガラス戸等の破損もなく切り抜けることができました。有難うございます。

婦人部活動へ

ご協力下さい!



◆とき

十月二十八日(日) 九時〜

◆活動内容

本堂、庫裡のガラス拭き、

拭き掃除等

◆持ち物

古タオル等



祐善寺婦人部の皆さん、お元氣ですか。

報恩講を迎えるに当たり、今年もお掃除をさせて頂きます。ご都合のつく方は、是非ともご協力宜しくお願い致します。

ご自分の体調に合わせて休んだり、仲間と会話したりして、無理のないお手伝いになればと思っています。男性の方の力強いご協力があれば、嬉しいです。みんなの力と心を合わせて、お寺の報恩講をお迎えますように。今回は、軽食は用意せず午前中に終わりたいと思っています。(桑原文子)

編集後記

★東本願寺では、全国約九千の大谷派寺院へ毎月二百頁程の『真宗』という機関誌を配布しています。その今年十月号で、私達祐善寺の納涼祭が紹介されました。酷暑の中で皆が頑張ったあの「祐善寺納涼祭」のことが、全国の同朋の皆さんに知って頂けたのです。有難いことです。門徒の皆さん、これからも祐善寺と自分達のために、無理のない範囲で努めましょう。頑張りますよ。

その記事は、岡崎賢住職についての次のような担当記者の感想で終わっていました。「おどろくところのない素朴で真摯な人柄が、門徒さん達が納涼祭でも力を合わせる背景にあるのだと感じた。」

★有難いことです。勿体ないことです。このように「おどろくところのない素朴で真摯な人柄」の御住職と坊守さんを中心に、明日からも門徒みんなが力を合わせて、私達の祐善寺の法灯を守り続けていきましょう。

★お釈迦様は、『善因善果 悪因悪果 自因自果』と教えられたそうです。「善い行いは自分の幸せを招き、悪い行いは自分の不幸につながる」という意味でしょうか。全ては自業自得ということかも知れません。

★「祐善寺だより」第四十一号をお届けします。御住職はじめ門徒さん皆さんのお陰です。(野村軍一)